

公開シンポジウム「環境 DNA 分析で斬る!侵略的外来種」

(共催/農研機構・環境 DNA 学会) 開催報告

研究推進部 部長 小出水 規行

日時：令和6年12月1日(日) 14:00~16:30

場所：つくば国際会議場 メインホール

内容：

- ・開会挨拶：農研機構 農業環境研究部門 山本勝利 所長
- ・基調講演：外来種問題解決の糸口：環境 DNA 分析が役立つ場面
国立環境研究所 五箇公一氏
- ・講演：通水阻害対策における環境 DNA 分析の活用事例
農研機構 農業環境研究部門 伊藤健二氏
- ・講演：貝類メタバーコーディング法の開発と活用事例
いであ株式会社 中村匡聡氏
- ・講演：鳥獣害対策における環境 DNA 分析の活用事例
農研機構 畜産研究部門 小坂井千夏氏
- ・総合討論：座長 土木研究所 村岡敬子氏
- ・閉会挨拶：農研機構 農村工学研究部門 小出水規行 研究推進部長

参加者：計 395 名（現地参加 121 名、オンライン参加 274 名）

本シンポジウムは、農研機構と環境 DNA 学会の共催により、第7回環境 DNA 学会つくば大会（2024年11月30~12月4日）と会期を合わせて実施されました。本シンポジウム講演要旨は、https://www.naro.go.jp/event/files/abstract_20241201.pdfにてご覧いただけますのでご興味のある方はぜひご覧ください。



農業環境研究部門 山本所長



農村工学研究部門 小出水部長

(写真提供：大場靖之氏)